



みやま市観光振興計画

第2章

みやま市の観光・物産を巡る二ーズ

この章では、みやま市の観光や物産に寄せられる二ーズを二つの視点から考えます。ひとつはみやまの内部から、もう一つはみやまの外からの視点です。

2-1：みやま市に暮らす人々の生活と産業

2-2：みやま市を訪れる人々の姿

伝統芸能を伝える

みやま市瀬高町の大江地区に伝わる幸若舞は全国的にも稀な存在である。毎年1月20日に演じられ、今なお、武家で好まれた気品高く勇壮な気分を味わうことができる。多くの見学者があり、みやまの古風なイメージを形成してきた。

2 みやま市の観光・物産を巡る二ーズ

2-1 みやま市に暮らす人々の生活と産業

2-1-1 みやまの産業の現状

みやまには、古くから様々な生業がありました。今なお、続くそれらの営みの多くは、みやま市民の暮らしを支えています。

しかしながら、その中に占める観光業の割合は極めて低く、専門的に「観光」を生業としている市民は限られています。従って、みやまの観光について考える時、その魅力の根源であるみやまの生業を幅広く分析する必要があります。

【農林業】

みやま市の農業産出額は年々減少しています。平成7年当時と比較すれば約8割の規模となっています。このことに合わせて、例えば経営されている水田は平成7年に3026ヘクタールでしたが、平成17年には2761ヘクタールまで減少しています（-9ポイント減）。同様の傾向は畑や果樹園でも見られ、厳しい経営環境が続いています。

→農業と観光を融合した新しいみやま農業の活路が求められています

みやま市の産業別就業割合

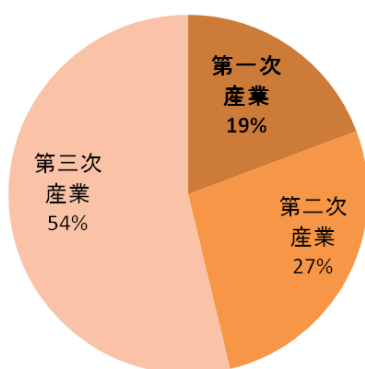


図5 みやま市の産業別就業者の割合
第3次産業が最も多くなっているが、ここに含まれる宿泊業は現状では2件である。
(平成17年国勢調査)

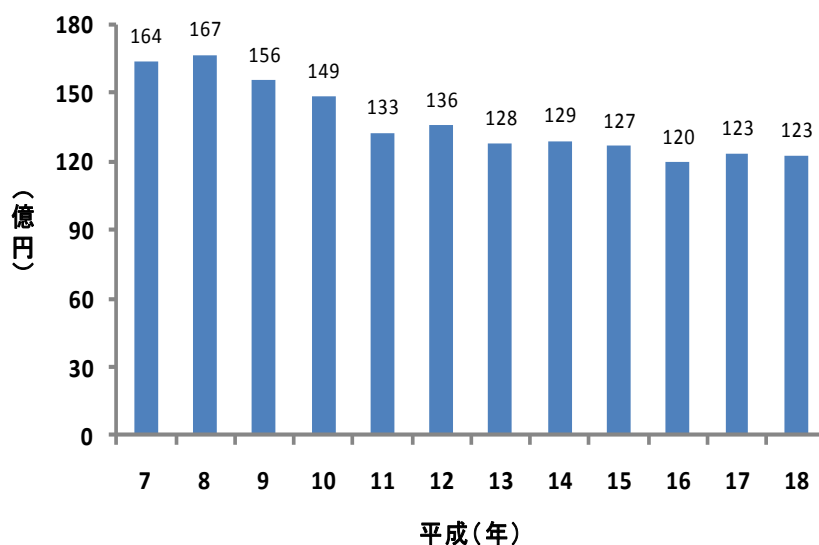


図6 みやま市の農業生産額(年間)
(農林水産省 生産農業所得統計)

【商業】

みやまの事業所数も過去 25 年の間に大きく減少し、約 5 割になっています。それに比例して従事する従業員の数も減じています。

→観光を通じて、できるだけ多くの交流人口を拡大していくことで事業所のビジネスチャンスを広げていく必要があります。

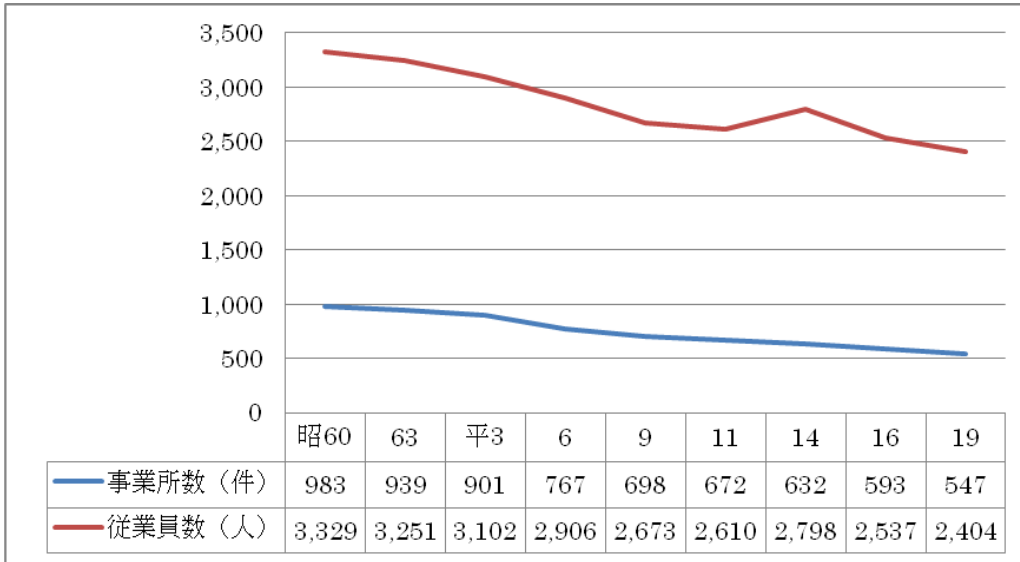


図7 みやま市の商業
(商業統計調査)

【工業】

みやまの工業はほぼ減少傾向が緩んでいます。製造品出荷額は昭和 63 年に 250 億円前後でしたが一時 330 億円程度まで伸びた後、現在は 260 億円前後となっています。

→特に製造業を中心に地道な展開が継続されています。魅力あるものづくりの現場がみやまにあることを示しています。

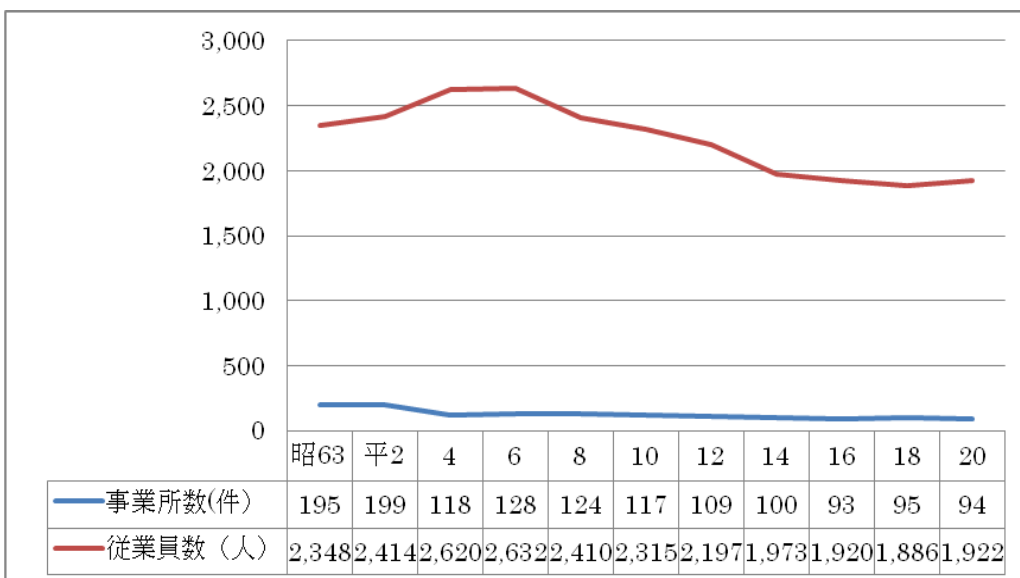


図8 みやま市の工業
(工業統計調査)



観梅の帰りに

みやまの2月の風物詩である座敷梅。多くの観光客が見事な梅に感動する伝統行事。2月は例年、観光客の少ない時期でもあり、ここに集まるお客様にみやまを回遊して楽しむ旅を売り込むことができないだろうか。(みやま市山川町)



観光ぶどう園の小屋

夏の2カ月間だけ開くこの小屋には、ぶどう園の主人夫婦が詰めている。ここでは、主人が栽培の苦労話やぶどう作りに賭ける想いを来訪者に語る場面がみられる。そうしたふれあいの中から、旅人は他所では得られない美味しいぶどうという「実利」を得て、満足にひたることができる。(みやま市高田町)

1章で明らかになったように、観光のトレンドはそうした何気ない市井の人々の暮らしに大きな興味を示し始めています。単なる物見遊山的な気分転換の旅ではなく、新しい知識を得たり、社会に貢献したり、健康増進に役立ったり、あるいは安くて良い商品をお得に手に入れたりというような実利も求めています。

ところが、そうした日々の暮らしや生業の場所というのは、従来「人様に見せるようなものではない」という思い込みもあり、あまり公開されずにきたことも事実です。

そのため、観光客には見せていい部分（積極的に公開したい部分）だけを見せて、それをもって「観光」としてきた経緯があります。しかし、「観光客」が遠来の「消費者」でもあることもまた事実です。その意味では、観光客に生産の現場を直に案内し、製品に込めた愛情や想いを直接知ってもらうことは生産者にとっても重要な意味を持ちます。

みやまにとっての「観光」とは、よそからの消費者をみやまという様々なモノの生産地に「誘導」し、個々のニーズに即した「実利」を提供することでもあります。結果的に、みやまに暮らす人々のビジネスチャンスが拡大することにつながっています。

2-1-2 みやまの人々の声から

観光振興計画の策定にあたり、市内各界の関係者にヒアリングを行いました。そこには、みやま市民の切実な悩みや今後への希望が寄せられました。

みやまに暮らし、働いている人の多くがこの土地と密接な関わりを持っています。特に、生産や製造に従事する人は田畑や工場・店がみやまに存在する以上は、みやまに居ながらにして少しでも多くのお客さんと接することができなければ死活問題です。その意味で、「観光振興＝みやまに流入する観光客の増加＝ビジネスチャンスの拡大」なのです。そうした人々が活力に満ちてくる時、みやまの地域振興にも弾みがつきます。ここでは、それに向けたアイデアも提示されています。

みやまの現状について

●みやまイメージ（知名度）は・・・

- ・展示会でみやまってどこ？と言われる（食品製造業）
- ・高速道路出口の看板にはセンスが無い（食品製造業）
- ・新鮮な野菜が安くまとまって手に入るといことで柳川や大牟田からも飲食店が買いに来る（野菜直売所）
- ・かつては嬉野を凌ぐ新船小屋温泉だったが、今や旅館も1軒になり、寂れた（旅館）
- ・新しい切り口でみやまを売り込むことを考えてほしい（旅館）

●みやまのことをもっと知らねば・・・

- ・瀬高の様子は分かるけど、山川のことは分からない（長田地区住民）
- ・幸若舞の人達との付き合いはない。別に避けているわけではないが（新開能保存会）
- ・きじ車を造っても、地元の者は喜ばない（きじ車製造業）
- ・地元からの入場者が減っている（観光梅園）
- ・地元の歴史を地元の人知らない（郷土史研究会）
- ・キッズ農園を開くと、農家の家の子どもが来て栽培体験を喜んでいる（体験農園開設者）
- ・市内の店で観光客に関西の大手メーカーの酒が出るのは地元酒造業界の怠慢だ（酒造業）
- ・山川の江月寺での野点は好評だった。近くのため池などの歴史も合せて魅力的なコースができるが、みんな知らない（農業生産者グループ）
- ・山川の地質は結晶片岩を含むからみかん栽培に適している。そんなこと知らない人も多い（みかん栽培農家）
- ・山川の平家落人の伝説を知らない人も多い（郷土史家）

●ビジネスチャンスを拡げたいが・・・

- ・昔から営業に回る業界ではないので、新規のお客さんを掴まえるのが難しい（酒造業）
- ・公共団体は、儲かる場所に民間のビジネスセンスを活かせる場所を用意して、後は、**商売人に任せる**のがいいと思われるし、西日本高速道路株式会社では、高速道路SA・PA活用のアイデアを募集していると聞いている（道路事業関係者）
- ・食の安全を消費者と共有するためには工場の見える化を進めたい。製造体験ができる設備を新規に整える予定だ（食品製造業）
- ・飲食店組合も数が減り、観光客に売り込みたいのとは裏腹に活動量が低下している（飲食店組合）
- ・ゴルフ人口が減っているので、レストランのみの利用なども積極的に増やしたい（ゴルフ場）
- ・農家レストランをやってみたらお客さんも喜んでくれたし、自分たちも楽しかったが、今はその**場所がない**ので活動できない（農業生産者グループ）
- ・製作、販売に加えて素人向けの教室などを一人でこなさなければならず、**それ以外のことに手が回らない**がそれではダメだと思っている（陶芸家）
- ・入場料収入で道具の維持管理費を稼げるくらいにはならないと将来が見えない（能保存会）
- ・個人客のニーズをうまく捉えたいがその術がない（薬草生産グループ）
- ・99%地元客だったが、近年はじり貧だ。食事メインのスタイルを貫きたいが厳しい（旅館）
- ・和ろうそくの良さを知ってもらいたい（製蠟業）

●売れるものをつくるには・・・

- ・自社製品のコンセプトを見直し、デザインなどにも力を入れると新しい取引先が増えた（花火製造業）
- ・味噌醤油の製造現場を見せるためのコースを造った。学校教育と連動して食育に力を入れたい（食品製造業）
- ・自慢の巨峰を作っている。**対面販売**で売りたいから2カ月だけ小屋を設けて直売する（観光ぶどう園）

●みやまは日帰りレジャーに適している・・・

- ・みやまは福岡市、熊本市からの距離を考えると近場で手ごろなレジャーの基地だからその可能性を追求した方がいい（道路事業関係者）
- ・客の大半は大牟田や玉名など近場の人だ（ゴルフ場）
- ・JRが企画したウォーキングツアーは意外に効果があったのではないかと（酒造業）

●こんなも売り方してみたい・・・

- ・2月の蔵開きの際の出店は品が悪くならないように配慮しているが、みやまに「うこん」があるなら便乗して販売してもらってもいい（酒造業）
- ・タカ食品や八っちゃん堂など食品産業が集積しているので、醸造業も一緒になって食育の社会科見学を受け入れるようなことができないか（食品製造業）
- ・みやまのナスを使って売れる料理を造りたい（飲食店組合）
- ・柳川のさげもん祭りとはタイアップできないか（観光梅園）
- ・B級グルメとして高菜を売り出したい（せたか高菜漬協同組合）
- ・アロマテラピーなどを2時間くらいで体験できるコースがつくれないか（製蠟業）
- ・人々のとのふれあいが面白い時代だ。異業種の人が集まる所にいいアイデアが出るのではないか（観光協会：個人会員）

●みやまで連携すれば・・・

- ・ゴルフコンペ参加の景品に地元のみかんや卵などを配ると喜ばれる（ゴルフ場）
- ・みやまの米を加工するのも製造業者の使命だと思うがなかなか実現しない（食品製造業・酒造業）
- ・焼物はそれ自体で鑑賞するのもいいが、実際に料理を盛り付けた時の表情もいい。みやまの料理人が使ってくれれば。誰か音頭を取ってくれないか（陶芸家）
- ・民間はライバル同士なので、みんなで集まってということところが難しい。誰かコーディネートしてくれる人が行政にいるとありがたい（酒造業）
- ・立花家が遺したもの（清水寺・お牧山・新開能など）が連絡を取り合うとみやまの歴史も奥深く面白くなるのに（能保存会）
- ・眺望の良さと健康的な料理を求めてのお客さんには文化藝術的な活動にも理解のある人があり、展覧会を併設すると反応が良い。だが、芸術家の人とつながるきっかけが無い（飲食店・観光売店）

●みやまでまとまって・・・

- ・観光協会の盛り上がりが無い（旅館）
- ・都会から客を呼ぶ仕掛けを、行政ではなく、観光協会や当事者がやる必要がある（酒造業）
- ・今まで行政の計画にはずいぶん失望させられてきた（郷土史家・菓子製造業）
- ・みんなの心に火をつけるビジョンがほしい（清水寺）
- ・具体的な経済効果が期待できない計画は誰も参加できない（清水寺）
- ・みやま市の中に、有機的なつながりが生まれるような仕組みができればうまくいくと思う（酒造業）

2-2 みやま市を訪れる人々の姿

2-2-1 来訪者アンケートから

次に、みやまに訪れた観光客（ウォーキングツアー、バスツアー参加者）の声を集めました。

みやまには初めてという人も多く含まれますが、みやまの観光に何を求め、来てみてどのような印象を持ったかが浮かび上がっています。

【JRウォーキング】

例年春と秋に行われるJR九州が企画するウォーキングツアーです。JR瀬高駅を起点とし、半径10キロメートル圏内の観光スポットまでをコース設定を行い参加者に楽しんでもらう内容です。博多駅などを利用する都市部居住者が参加しやすい距離（例：博多駅を午前8時台の列車で出発できる）にあることから、参加者の多いツアーとなっています。天候等の諸条件にも影響されますが、100～1000人超える参加者があります。

2010年の秋のツアー「清水山で心を癒し紅葉も楽しめるウォーク」の参加者を対象にアンケート調査を行いました。その結果を掲載します。

100 コース 11月23日(祝) 瀬高駅 瀬高駅 0944-63-2024

101 コース 11月 瀬高駅 瀬高駅

102 コース 11月23日(祝) 瀬高駅 瀬高駅

103 コース 11月 瀬高駅 瀬高駅

JRウォーキングの募集広告

毎年春と秋に行われるJRウォーキングでは、JR瀬高駅に多くの参加者が集まる。多くの参加者がここに掲載された情報だけで参加を決めている。



JRウォーキングの当日の様子

当日は、天候に恵まれ清水山の本坊庭園の散策に満足できた人が多かった。また、途中で地元住民が栽培した大根を好意で無料配布するもてなしがあり、「みやまの人はやさしい」という印象を持った人が多く見られた。

■瀬高駅 JRウォーキング アンケート集計

11月23日(祝)に行われたJRウォーキングに参加された方を対象に、アンケートを実施しました。参加者710人のうち、289人(回収率41%)からご回答をいただきました。

Q1：今日はどちらからお見えになりましたか？

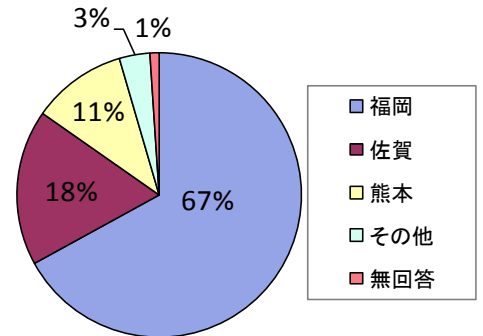
項目	件数	構成比
福岡から	194	67%
佐賀から	51	18%
熊本から	31	11%
その他	10	3%
無回答	3	1%
合計件数	288	100%

(内訳件数)

- ・みやま市内 5
- ・大牟田、八女、筑後、柳川、久留米 73
- ・福岡市、北九州市 60
- ・その他 55

<その他回答>

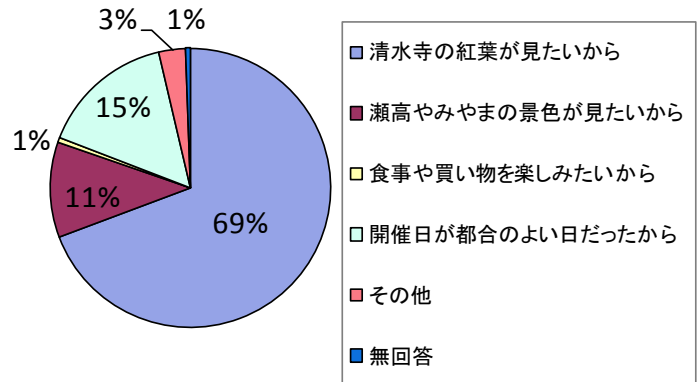
- ・大分(5名)
- ・長崎(4名)
- ・山口(1名)



福岡県内からの参加者が全体の7割近くを占めました。その中でもみやま市に隣接する市からは73件、また福岡市及び北九州市からは60件とそれぞれ多くなっています。

Q2：本日のJRウォーキングで瀬高駅コースを選択された主な理由をお聞かせください

項目	件数	構成比
清水寺の紅葉が見たいから	246	69%
瀬高やみやまの景色が見たいから	39	11%
食事や買い物を楽しみたいから	2	1%
開催日が都合が良かったから	55	15%
その他	11	3%
無回答	2	1%
合計件数	355	100%

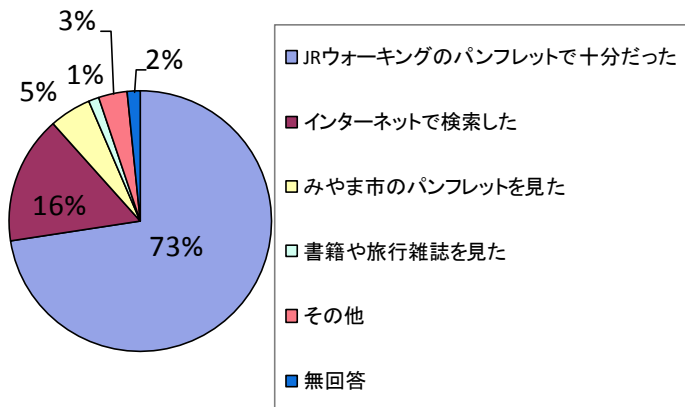


<その他の回答>

- ・おもてなしが最高だから
- ・ウォーキング仲間から誘われたから
- ・大根や芋のサービスが嬉しいから
- ・JRウォークのファンだから
- ・地元の人とのふれあいがあるから
- ・近くだから
- ・瀬高という所は初めてだったから

紅葉を見るために瀬高コースを選択した人が7割近くを占めており、福岡近辺の人からみると清水寺周辺の紅葉は知名度があることが推測できます。

Q3：本日のJRウォーキングに参加されるにあたり、瀬高やみやまのことで何らかの手段で情報の収集や検索をされましたか？



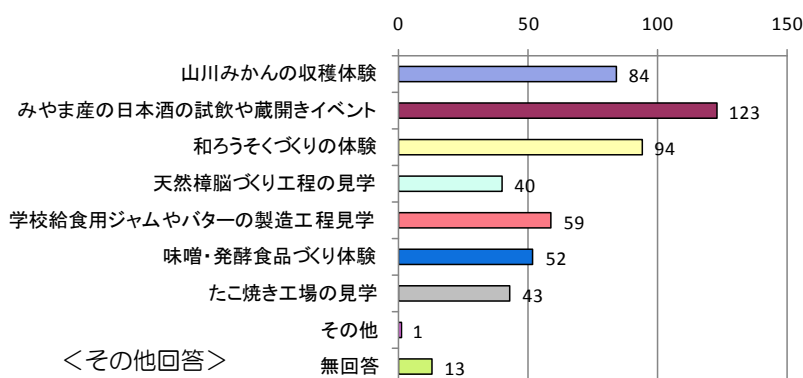
<その他回答>

- ・テレビで見た・知人から教えてもらった・前から知っていた

情報源がパンフレットのみだった人が7割近くを占めたことから、パンフレットの内容は観光客を呼び込むための大事な勝負どころであるといえそうです。

Q4：みやまにはいろいろなもの作りの工場があります。実際に、そうした工場の内部を見学してみたいというご希望も寄せられていますが、あなたが瀬高駅発のウォーキングに組み込んで欲しい工場はどれですか。（複数回答あり）

- A: 山川みかんの収穫体験 B: みやま産の日本酒の試飲や蔵開きイベント C: 和ろうそくづくりの体験
 D: 天然樟脳づくり工程の見学 E: 学校給食用ジャムやバターの製造工程見学
 F: 味噌・発酵食品づくり体験 G: たこ焼き工場の見学 H: その他



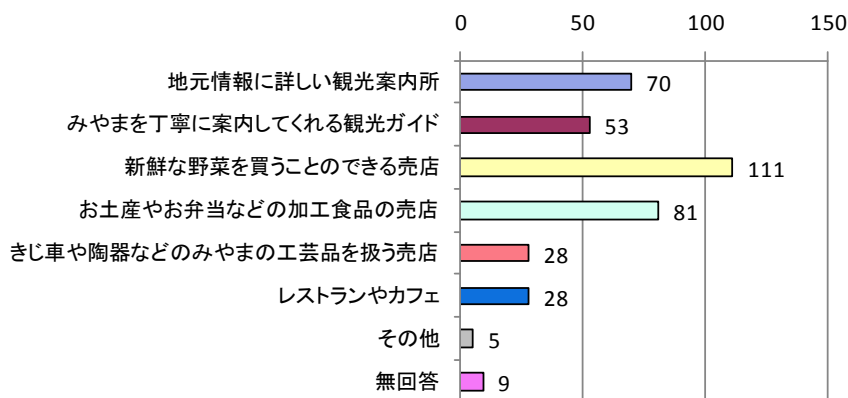
・全部組み合わせてほしい

全体的にどの工場も一定数の人気があるようです。

日本酒試飲や蔵開きイベントを挙げる人が多い傾向にありますが、これは車の運転を気にせず参加できるJRウォーキングの特性も影響しているといえそうです。

Q5：観光客として瀬高駅やみやまを訪ねた際に、あなたが欲しいと思う施設はなんですか？（複数回答あり）

- A: 地元情報に詳しい観光案内所 B: みやまを丁寧に案内してくれる観光ガイド
 C: 新鮮な野菜を買うことのできる売店 D: お土産やお弁当などの加工食品の売店
 E: きじ車や陶器などのみやまの工芸品を扱う売店 F: レストランやカフェ G: その他



<その他回答>

- ・道の駅
- ・梅の花
- ・歴史的なもの
- ・ランチが食べられる店
- ・少しずつだけ揃っていて楽しかった

新鮮野菜を買える売店及び加工食品の売店を挙げる人が多い傾向です。

また観光案内所と観光ガイドについても、ともにみやまを案内するものとしてセットで考えるとニーズは多いようです。

Q6：本日、実際にみやまを歩いてみて、何が印象に残っていますか？ぜひお聞かせください。

（風景のすばらしさ）

- ・清水寺の紅葉がすばらしかった
- ・初参加だったが、清水寺の紅葉に感動した。春もまた来たい
- ・のどかな田園風景を楽しんだ
- ・里山の何気ない田んぼ道が気持ちよかった
- ・大根とキャベツ畑がきれいだった など

（魅力的な野菜）

- ・新鮮な野菜がたくさんでおいしそう
- ・こんなにいい所で育った野菜は美味しいだろうなと思いました など

（おもてなし）

- ・町の方がすごく優しくかったのが印象的でした
- ・地元の方のあたたかいおもてなし
- ・皆さん親切でした
- ・地元の皆さんのあたたかい心 など

（その他）

- ・清水寺周囲の道が狭いのに車が多いので少し怖かった など

沢山の方がみやまの魅力について記入してくださいました。次項に、生の声をそのまま記載しています。

(Q6回答より) みやまを歩いてみて、印象に残っていること

- ・紅葉がたいへんきれいでした
- ・畑、紅葉、野菜
- ・畑といちようと紅葉と石段ともらった大根
- ・田園
- ・歩きやすい表示がされていました
- ・景色がよかったです
- ・楽しかった
- ・のどかな田園風景が広がってなごみました
- ・のどかな田園風景を楽しみました
- ・紅葉がとてもきれいでした
- ・あたたかいおもてなしに感謝しています
- ・ちくわがおいしかったです
- ・のどかなところ
- ・清水寺。初めて来ましたがとても趣のある寺で印象に残りました。また行きたいです。
- ・清水寺周囲の道が狭いのに車が多いので少しこわかった
- ・清水寺本坊庭園
- ・おもてなしの心ありがとうございます。紅葉のすばらしさ。車を運転される方のやさしさ。
- ・あいさつをしてもらった
- ・とてもいいところ。皆さん親切でした
- ・紅葉がきれいだった
- ・紅葉がとても美しい
- ・清水寺の紅葉のすばらしさ
- ・里山の何気ない田んぼ道が気持ちよかったです
- ・紅葉がとてもきれいでした
- ・清水山の紅葉
- ・楽しいウォーキングができました
- ・秋の一日を充分に楽しめました
- ・秋の一日、山道歩きが大変良かった
- ・紅葉。清水校区の方々のおもてなし(公民館で)
- ・意外に清水寺がきれいで大きかった
- ・地元の方々のあたたかいおもてなし、どうもありがとうございます
- ・紅葉が美しく、田園風景がよかったです
- ・町の人がすごく優しくったのが印象的でした
- ・大根とキャベツ畑がきれいでした。紅葉早かったですね
- ・無料配布の野菜にびっくり
- ・清水寺周辺の紅葉、すばらしかった。接待して下さった清水公民館の方々ありがとうございました
- ・清水寺を初めて見て、まだまだ知らない、きれいな所がたくさんあるものだなと感じた
- ・サービスの良さ(町民の方々の)
- ・清水寺本坊庭園
- ・清水寺の庭園がすばらしかった
- ・適当な企画でした
- ・紅葉狩り最高でした
- ・丁度紅葉がきれいでした
- ・のどか
- ・素晴らしい1日でした
- ・休憩所でいろいろ頂いてありがたかった。親切にいただきました
- ・皆さんの親切
- ・地元の方々のサービス。大根をもらった
- ・清水と紅葉と人情
- ・本坊の紅葉
- ・紅葉が美しかった。みやま市の方が親切でした
- ・紅葉がとてもきれいで感動しました
- ・いい空気が吸えた
- ・清水寺の紅葉、地元の方々の笑顔、さつまいも
- ・野菜畑、みかん
- ・紅葉がきれいでした
- ・清水寺の予想以上の広さと紅葉の美しさ、田園風景も良かった
- ・清水公園～清水寺、三重塔。景色が良かった
- ・清水寺庭園を見たいと思っていたので見られてよかった
- ・山からみた景色
- ・歩きやすい道でした
- ・空気がきれいだった
- ・空気が澄んでいて、田んぼ道を歩いてよかった
- ・つつじが美しかった
- ・ただウォーキングの道のりを歩いただけの様で、町などがどんな所だったかわからない。ただ田んぼの道を歩いただけの様だった。しかし清水寺はすばらしかった
- ・清水寺の紅葉がとてもきれいでした
- ・スタッフの方が大変だったでしょう(道案内の方も大変だったでしょう)。お茶とかお芋、みかんを頂きましてありがとうございました
- ・紅葉がとても美しかった
- ・紅葉は最高。おもてなしの心に感動
- ・美しい紅葉を見られてよかった
- ・緑が多いこと
- ・初めてみやまを散策させていただき、次回もまた参加したいと思いました。こちらこそありがとうございました。
- ・紅葉がきれいで天気も良くとても良かった
- ・大根とキャベツの町。のんびりゆったり町
- ・紅葉とてもなし
- ・緑豊かで町の人たちが気軽に挨拶してくれた
- ・清水寺の庭園はすばらしかった。和尚さんのガイドもばっちり!
- ・JR ウォークすぐ良かった。大根サービス今後もつづけて
- ・自然がきれい
- ・清水寺の散歩コースの風景が良かったが、車が多くて危険かなと思った
- ・紅葉が美しかった。市民の方のもてなしが嬉しかった
- ・疲れた
- ・紅葉がきれいでした
- ・清水寺の紅葉が美しかった
- ・新鮮な大根をいただいてとてもうれしかったです
- ・こんなにいい所で育った野菜は美味しいだろうなと思いました。歩くコースにとってもよい。懐かしさを感じさせてくれます
- ・紅葉がきれいだった
- ・大根の土産は大変ありがたかったです。ボランティアと聞いてびっくりです
- ・田園風景
- ・清水寺の紅葉が美しかった
- ・新幹線の高架。田んぼの道と山道(石畳)
- ・清水寺庭園がすばらしかった
- ・清水寺の紅葉は良かったです
- ・町全体が落ち着いていていい感じでした。紅葉がとてもきれい。福岡の財産です!
- ・清水寺の紅葉が大変きれいだった
- ・紅葉が見事。また来ます
- ・地元の方々の心のこもった接待
- ・寺に車が邪魔
- ・畑の中を歩いて風が心地よかったです

- ・紅葉がきれいでした
 - ・清水寺の紅葉が大変きれいだった
 - ・紅葉と田園風景が気持ち良かったです
 - ・人の温かさ。庭園での説明。紅葉
 - ・紅葉がすばらしく、快適でした
 - ・紅葉がきれいだったこと。地元の方たちが親切だったこと。のんびりした景色
 - ・ウォーキングコースで紅葉が大変きれいでした
 - ・おもてなしが大変良かった。ありがとうございました
 - ・のどかで気持ちのよい風景と清水山への道がよても良かったです
 - ・紅葉と休憩所のおもてなしが良かったです
 - ・とてもきれいな風景が気に入りました
 - ・人のよさ、人情
 - ・清水寺を中心とした自然の美しさ
 - ・清水寺庭園の紅葉
 - ・畑と野菜と自然の豊かさです
 - ・田園風景が良かった。紅葉がきれい
 - ・良い駅
 - ・思った以上に清水寺が広大で美しかった
 - ・清水寺とおみやげの大根
 - ・清水寺庭園
 - ・楽しかったです。野菜をいっぱい買いました
 - ・のどか。清水公民館でのお茶やお芋がおいしかった。ありがとうございました
 - ・やはり清水寺本坊庭園等の紅葉です
 - ・清水寺の紅葉(三重塔)
 - ・何回も来ています。清水山は春は春、秋は秋で素晴らしいところです
 - ・清水寺の紅葉と親切な人たち
 - ・町の人がフレンドリーでした
 - ・竹屋近辺の紅葉
 - ・皆さん大変協力的で感じが良かったです
 - ・紅葉がきれい。空気もさわやか
 - ・紅葉の清水寺三重塔。本坊庭園
 - ・清水寺の紅葉
 - ・もみじが美しい
 - ・今年が最高に紅葉がきれいでした
 - ・地元の皆さんのあたたかい心。お茶、おいも、みかん、野菜、ありがとうございました
 - ・清水寺付近の車どうにかなりませんか
 - ・おもてなしがよい
 - ・マラソンと違ってまた楽しかった
 - ・私は瀬高町ウォーキングが大好きです。歩きやすくて野山が大好きだから
 - ・紅葉(自然)の美しさ
 - ・清水山の紅葉が最高にきれいでした
 - ・本坊庭園前のイチヨウの落葉がとてもきれいだった。竹屋の近くで絶景の紅葉スポットを発見
 - ・空気がきれい
 - ・山上の展望のよさ
 - ・大根ありがとうございます
 - ・紅葉がきれいでした。清水山に登ったのは久しぶりでした
 - ・景観、紅葉最高
 - ・天候もよくウォーキングに良い1日でした
 - ・本坊庭園
 - ・今日の紅葉は最高。☆5つです。これほどきれいな所は他にない
- ・やはり清水寺の紅葉。見事でした
 - ・紅葉のきれいさ。清水寺は良かった
 - ・紅葉がすばらしい
 - ・清水さんの紅葉と五百羅漢
 - ・紅葉の美しさ。自然が多く毎年来てます
 - ・空気がきれい。川の水がきれいでした。ありがとうございます
 - ・おみやげ、大根
 - ・清水寺の紅葉がきれいだった
 - ・紅葉もきれいで野菜のお土産もいただきましてありがとうございました
 - ・紅葉していた清水山がきれいだったこと
 - ・清水寺本坊庭園紅葉が今年は特に美しかった
 - ・ウォーキングコースがゆったりで、紅葉がきれい
 - ・紅葉がきれいでした
 - ・清水寺の紅葉。いつ見てもきれいです
 - ・清水寺の紅葉が良かった
 - ・道、紅葉
 - ・農業がさかんようだった
 - ・静かでのどかな町だという印象でした
 - ・空気が良かった
 - ・おいしそうな野菜が好きでした
 - ・清水寺の紅葉、おもてなしがとても印象に残りました
 - ・お茶接待を受けて公民館の方々のあたたかさがありました
 - ・天気もよく紅葉もすばらしく早朝より来て良かったです
 - ・紅葉がすばらしかった
 - ・大根のサービスは良かった。水の先着何名様はやめて、全員にほしい
 - ・空気がおいしい、人が親切
 - ・清水寺の景色
 - ・自然が多く寺や神社がとてもきれいでした
 - ・紅葉がよかったです
 - ・本坊庭園の紅葉
 - ・紅葉と地元の人のやさしさ
 - ・清水寺の紅葉。地元の人のやさしさ
 - ・清水寺へ行く山道
 - ・清水寺周辺の紅葉。いちょうの大きな木
 - ・景色はもちろんですが、みやま市の皆様の心温かいおもてなしに感謝
 - ・清水寺の紅葉が美しかった
 - ・清水山の景色が良かった
 - ・庭園、清水までの山道のよさ
 - ・紅葉がきれいでびっくりした。初めて来ましたが、お茶接待が嬉しかった
 - ・地元の人のお接待に感動した
 - ・清水寺の紅葉がきれいだった
 - ・初参加でしたが(瀬高)清水山の紅葉に感動！素晴らしい所でした。春も来たいです
 - ・田園風景が落ち着きを感じる、いやされる
 - ・清水寺の紅葉(少し木漏れ日がほしい) 山道
 - ・とても静かでした
 - ・おもてなしに感謝
 - ・坂が多くてきつかったけど良かった
 - ・清水寺の紅葉
 - ・楽しい。車が少ないのがいい
 - ・紅葉の時期にて観光の人が多くて紅葉も少し過ぎていましたがよい場所でした

【みやまを巡るバスツアー】

都市と農村の交流を推進するNPO法人の企画で、大型バス1台で博多発着して、秋のみやま市内を巡るバスツアーが行われました。みやまにおける交流や体験、食の魅力を味わうという企画意図です。

訪問先には事前に打ち合わせが行われていたこともあり、通常は行われぬ丁寧なガイドやもてなしが行われていました。

参加者は、その特殊な事情も理解しつつも、そうした心づくしの対応に好印象を持ち、みやまを再訪したいと考える人も多く現れています。

このことは、今後のみやま市の観光の在り方について大きなヒントを与えています。

「みやまに行こう」バスツアーの様子

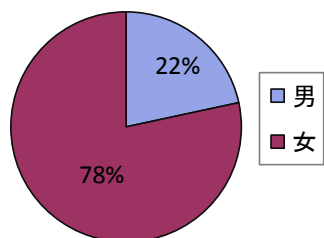
地元コーラスグループによる出迎えや、清水寺本坊における住職の解説、みかん園でのみかん狩り、江月寺特別拝観、地元加工食品グループによる展示即売会など、あたらしいみやま観光の魅力の創出を意図して、普段は行われていない様々な取組が用意されていた。企画：NPO法人九州地域交流推進協議会 協力：筑後田園都市推進評議会（2010年11月）



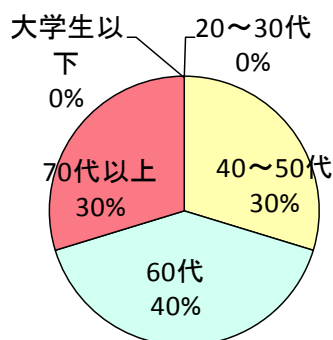
■九州再発見巡りツアー『みやまに行こう!』アンケート集計

11月27日(土)に行われた「九州再発見巡りツアー『みやまに行こう!』」に参加された方を対象に、アンケートを実施しました。参加者 人のうち37人(回収率100%)からご回答をいただきました。

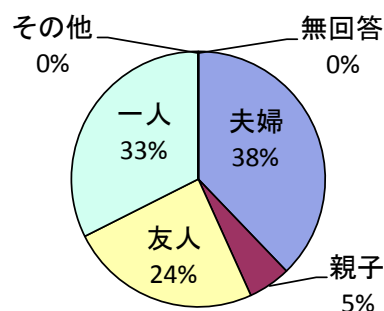
1) 性別



2) 年齢



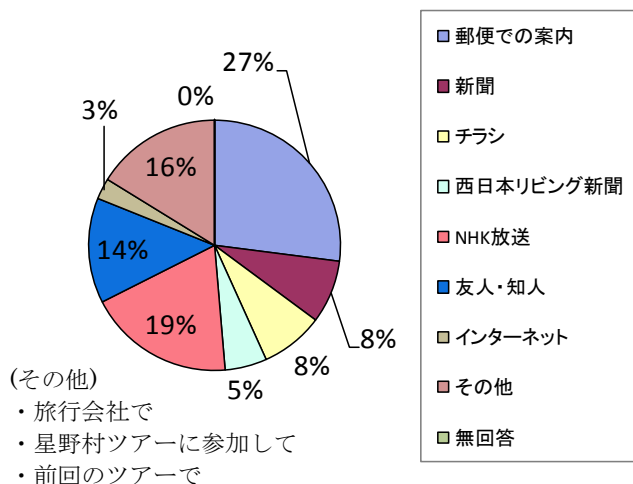
3) 誰と一緒に参加されましたか?



参加者の傾向としては、中高年世代の女性の参加の割合が非常に多い結果となりました。また、夫婦や親子、友人と参加された方が7割近くを占めた一方で、一人で参加された方も3割いらっしゃいました。

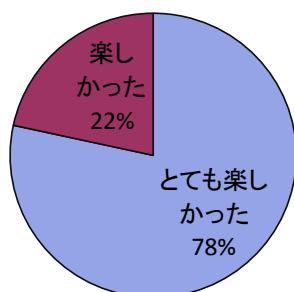
4) 今回のツアーをどこでお知りになりましたか?

項目	件数	構成比
郵便での案内	10	27%
新聞	3	8%
チラシ	3	8%
西日本リビング新聞	2	5%
NHK放送	7	19%
友人・知人	5	14%
インターネット	1	3%
その他	6	16%
合計件数	37	100%

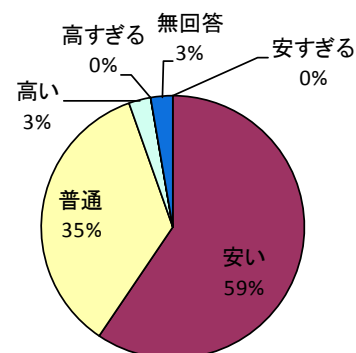


郵便での案内が全体の約4分の1と一番多い結果になりましたが、その他の広告媒体や人づての紹介についても、それぞれ一定の効果を見せているようです。

5) 今回のツアーは、全体を通していかがでしたでしょうか?

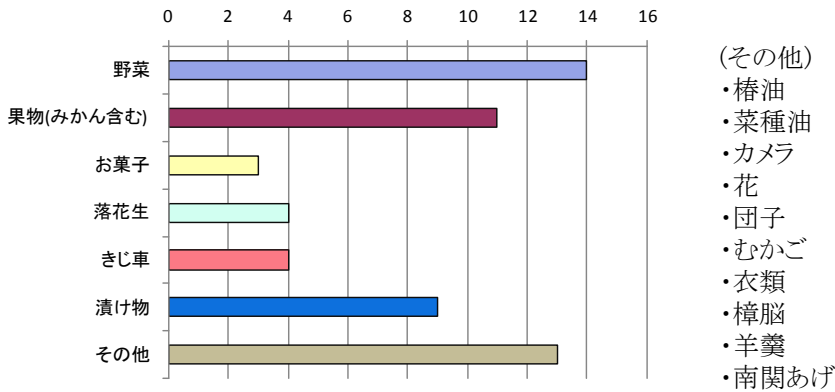


6) 今回のツアー代金(5500円)はどうでしたか?



今回のツアー全体を通しての満足度は概ね高く、好評だったようです。またツアー代金に関しては9割以上の方が「安い」もしくは「普通」と答えており、内容に合った金額として納得いただけた結果となりました。

7) 本日のツアーでどんなものをいくらくらい購入されましたか？

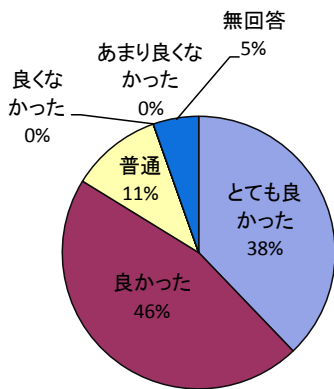


- (その他)
- ・椿油
 - ・菜種油
 - ・カメラ
 - ・花
 - ・団子
 - ・むかご
 - ・衣類
 - ・樟脳
 - ・羊羹
 - ・南関あげ

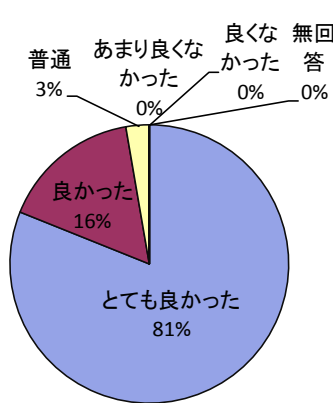
新鮮な野菜や果物(みかんを含む)、及び漬け物が参加者には人気だったようです。

また、きじ車を購入された参加者もあり、きじ車がみやま市ならではの土産物として認識されていると推測できます。

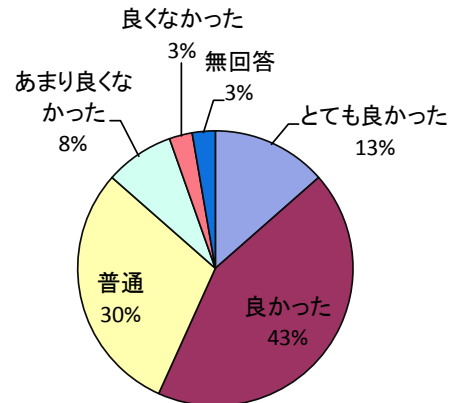
8) 本日のコースで訪問したそれぞれの場所についてのご感想を、5段階で評価してください



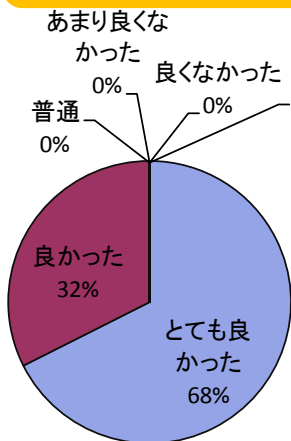
みやま歴史資料館



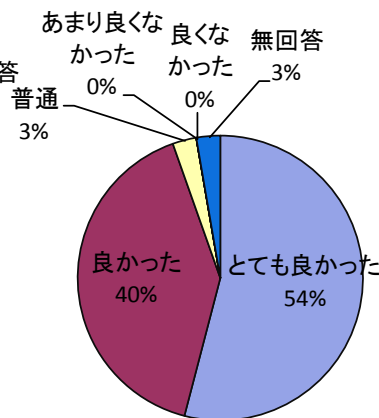
清水山もみじ狩り散歩



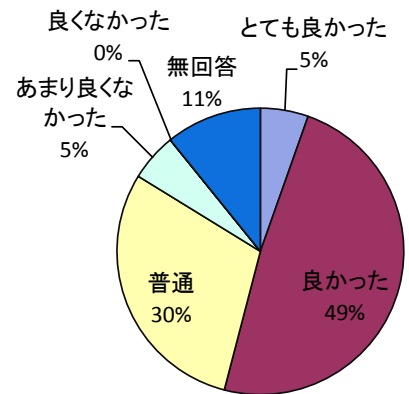
TaKeYa で自然食ランチ



山川みかん狩り体験



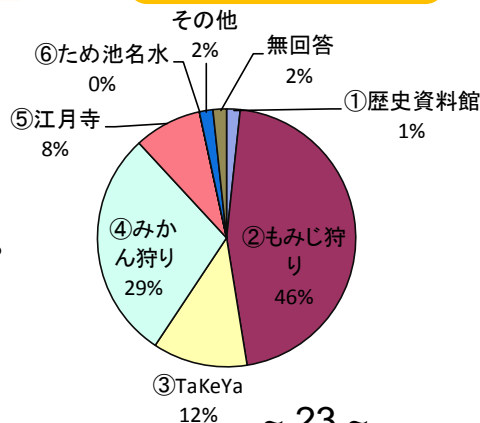
江月寺見学



蒲池山ため池とかもがわ名水

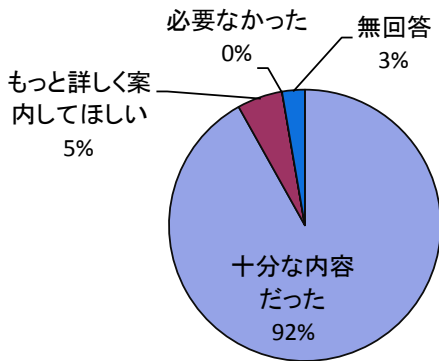
9) 今回のツアー参加の決め手となったのは(8)の工程のどれでしたか？

- (その他)
- ・赤い鳥の本を読んでいたから
 - ・初めてだったから



清水寺のもみじ狩りと山川みかん狩り体験については、ツアー参加の決め手として挙げた方が多いだけでなく、当日の満足度としても非常に高い評価が得られたようです。また他の行程についても、概ね良かったとの回答がありました。

10) 今回のツアーにおける観光ガイドはいかがでしたか？



(その他)
 ・地域の面白い話などがあれば聞きたかった
 ・古代の歴史がもう少し欲しい

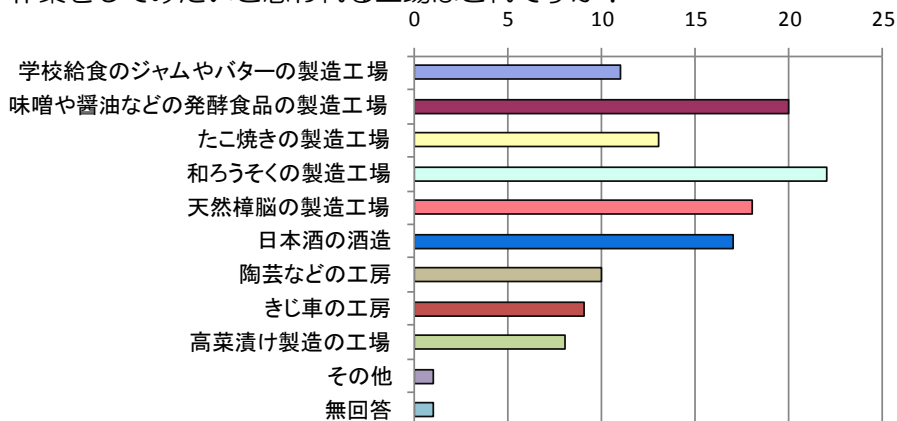
今回ツアーにおける観光ガイドに関して、参加者からの満足は概ね得られているようです。

「十分な内容だった」という回答のうち、「ユーモアがあって楽しいバス旅行だった」と書かれた参加者もいらっしゃいました。

11) 今回のバスツアーに参加してみて、また配布させていただいた観光案内のパンフレットをご覧いただいて、みやま市の魅力だと感じる点や、参加してみたい体験や、イベントなどありましたらお聞かせ下さい。

- ・ほたるツアーは是非参加したいと思えます。おもちゃ花火フェスタも孫と来たいです
- ・ホテル観賞
- ・ため池のホテルを見に行きたい
- ・ほたる狩り(バスツアーがあれば参加したい)
- ・ほたるツアー。空気がよかった
- ・ホテルを見に来たいと思えます。
- ・ほたる。紹介してください、資料が無い
- ・ほたる
- ・納涼花火大会、ほたる祭り等のイベントには訪れたい。また今回の清水寺のもみじ狩りはみやま市の大きな魅力の一つであると感じました。
- ・清水寺の桜の時期、ホテル(1泊)
- ・清水山の紅葉は今回初めて知りました。もっともっと宣伝したらいいと思います。新聞の紅葉だよりの欄に載せるといいです。ほたる祭りにも来てみたいです。みかん狩りもよかったです。
- ・清水寺の紅葉は良かった
- ・清水山のもみじ狩りと山川みかん狩りは初めての体験で楽しくてよかったです。みやま歴史資料館で歌の歓迎を受けたことも感動しました。今度は新緑の時にもう一度来たい、また月見にも来たい
- ・“みやま”のイメージ通りの自然いっぱいいいところでした。清水寺は京都の感じで、春にまた訪れてみたいです。ぼたん園の花が咲きそうと見事でしょうね。山川みかんのおいしさに感動。みかんを買うとき、山川にしたいと思えます。
- ・清水山もみじ(本坊)がすばらしく、もう一度春の新緑時に来たい。徳永さんのみかんが大変おいしかった
- ・納涼花火大会、ほたる祭り、清水寺の桜、紅葉、ミカン
- ・みやま納涼花火大会
- ・自然が美しい(四季折々に見られる観光地があることを知りました)。ご案内があったほたる(及び桜)のときに機会があれば行きたいと思いました
- ・清水山もみじ狩り散策。ため池ほたる祭りに参加してみたいです
- ・清水寺は素晴らしかった。女山へ行きたかった(邪馬台国を見たい)
- ・やまかわ平家祭り
- ・みやまの古い歴史をいたる所に発見できたのは新鮮な驚きだった。江月寺のお茶会などもっとPRして、ツアーに入れてほしい。みかんはやはり美味!
- ・自然を活かしたイベント、古くから伝わる祭り
- ・天然樟脳の製造場所に行ってみたい
- ・隠れた文化遺産の散策(ウォーキングを入れて)+工場見学
- ・江月寺、薬草ウォッチング
- ・水、山、与田記念館
- ・与田準一記念館のボランティア案内は大変良かったです
- ・みやまを訪れるのが初めてだったので、イベント等はまだ分かりませんが、童謡の詩人が出た街と初めて知りました
- ・歴史資料館はガイド不要。CDなり絵本なり売ればよい
- ・豊かな自然が残されていること
- 役所の皆さんが一丸となって地域振興に努力されている

12) みやま市には食品関連などのたくさんの工場がありますが、以下の工場の中でその製造現場の見学や体験作業をしてみたいと思われる工場はどれですか？



どの工場・工房も一定数の人気があるようです。その中でも和ろうそくや天然樟脳など珍しいものや、食品関係の工場には人気が集まりました。ツアーの行程に工場見学を盛り込んでほしいという意見も寄せられており、工場見学はみやま市の観光における魅力として可能性を持っていそうです。

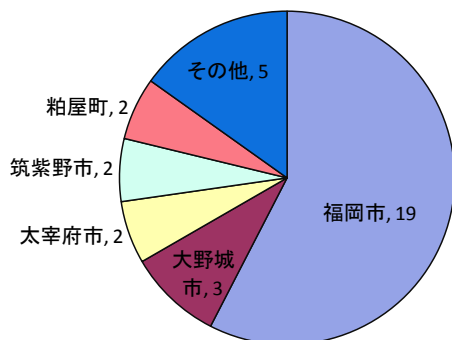
(その他)たけのこ掘り

13)良かった点や悪かった点、参加してみて感じたことなど、ご自由にご感想・ご意見をお聞かせ下さい。

- ・個人では行かないところへ色々案内していただき、近くなのにこんなに良い場所があると感心しました
- ・清水山の紅葉がすばらしかった
- ・とても楽しかったです。また参加したいです
- ・コースに必ず工場見学を入れてほしい。
- ・昼食バイキングはおいしかったけど、狭いので落ち着いてとれなかった。
- ・地域の特産品の紹介や地元の方のおすすめの店を教えてください。
- ・みかんは最高においしかった。インターネットで買えるようにしてほしい
- ・清水山もみじ狩り散策は最高に心が癒されて良き思い出になりました。野うさぎを見かけました。珍しくかわいかったです。
- ・自然食ランチメニューが豊富で珍しい料理もありとても美味しくいただきました。
- ・来年も土日、祭日に企画されました是非参加したいです。ありがとうございました
- ・展望所の説明標示が欲しい。山川みかんは宣伝不足ではないか
- ・山川みかん(ブランド)は良かった
- ・みかん狩り、清水寺が良かった。
- ・ため池が残念、坂道が多かった。
- ・市の職員の方の気遣い(心遣い)ありがとうございました
- ・市役所の方や、お世話してくださる方(内田さん方)が細やかに計画を立てたり説明して下さい良かったです。皆さん親切であたたかい方ばかり！
- ・色々なところに行きたいです。
- ・パンフレットが欲しいです
- ・第一回としては良かったのではないのでしょうか
- ・段取りが悪い。説明不足が散見される。
- ・もっと体験型があれば、また参加したい。能の時期のツアーもいい。
- ・関係者各位の“楽しんでらおう！”という熱意は伝わってきました
- ・たくさんのおみやげをいただき嬉しかった。
- ・みかん狩りのときは手袋まで準備してくださって感激。細かい気遣いを感じました
- ・脚が悪いのもみじ狩りの折に往復車に乗せていただきましたことを感謝しています。
- ・バスに乗るだけの旅ではなく、自然のなかで十分運動できたことは良かった。
- ・古いお寺の仏様はとても美しく感動しました
- ・今回も地元の皆様ありがとうございました。スタッフの皆様毎回ご苦労様です。おかげさまで毎回とても充実した一日を過ごすことが出来ました。次回楽しみにしています。ドライバーの方安全運転ありがとうございました。

- ・昼食をもう少し楽しみたい。他のボランティア、地元の方の説明など良かったです
- ・わたし(72歳)にとっては階段など一寸ハードでした。案内に「杖など便利」と書き添えてあれば助かったのですが…来年もたくさん案内待っています
- ・坂、階段が多かった点が悪かった。
- ・清水山のもみじ狩り、みかん狩り体験が良かった
- ・今回も盛りだくさんの企画で、とてもありがたいと思っています。ただ、歩いての移動のときは最前列と最後尾にスタッフを配置されることを望みます。例えば清水寺から三重塔へ行くとき道が左右に分かれていてとまどった。
- ・みかん狩りもどこで測るか、また注文もどこでするか決めて欲しかった
- ・時間的にゆっくりして良かった
- ・観光業者ではないツアーの手作り感
(良さ…一生懸命な点、好印象)
(悪さ…案内の要領は良くない、客が迷う場面もあった)
- ・ツアー客の年配女性のマナーの悪さを感じた
- ・みかん農家の方には大変お世話になりました。感謝申し上げます
- ・コーラスの方や竹屋の方、名水のお茶出し、みかん農園の方と皆様大変好意をもって接していただき、とても楽しかったです。もちろんお世話いただいた皆様にも感謝しています。また参加したいと思います。
- ・みやま市の見学は初めてでありましたが、清水山のもみじ狩り、みかん収穫体験など大変楽しく過ごさせていただきました。
- ・次回も計画された際には再度参加しもっとみやま市について理解を深めたいと思います。
- ・今日一日最高でした。スタッフの皆様御礼申し上げます！ありがとうございました！
- ・お天気が良くて最後の紅葉が楽しめました。
- ・与田準一さんのこと知りませんでした。
- ・江月寺も興味深く拝観しました。保存に力を入れていただきたいと思います。
- ・みやま市のことを全く知らなかったのが良かったと思う。ホテルのときにもう一度来てみたい
- ・とれたての薬草の食事がもう少しあるのかなあと期待していたけれど少し残念
- ・みやまのご婦人たちが「小鳥の歌」で迎えてくれてとても感動しました。心のこもったおみやげも、他のツアーでは見られません。役場の方、農家の方等、あたたかいおもてなしを実感しました。
- ・清水寺の階段が大変だった
- ・今回一番みたかったため池がとても残念です。清水寺と併せて来年またツアーをやってください。

(参考)参加者の住所傾向 (単位:人)



(その他)

- ・北九州市 1名
- ・飯塚市 1名
- ・宗像市 1名
- ・多久市 1名
- ・沖縄市 1名

参加者の住所傾向をみると、福岡市からの参加が全体の半数を占めました。また、みやま市に隣接する市町というよりは、やや離れた市町からの参加が多い傾向です。

